

◆ 主題名 (生徒に提示するもの)	つながれた命で今を生きる
-----------------------------	--------------

内容項目	見出し	教材名
D 19		ぼがあざん —戦艦大和の少女—

価値項目
1 2・3・4 生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解する。

本時のねらい
生命はずっとつながっているとともに関わり合っていることに気づき、自他の生命を自他の生命を尊重しようとする態度を育てる。

主題発問に向かうための導入・場面発問

L i n k	導入	発問	脚本読んで、どんなことを感じましたか？	↑ ここまで多目的
		補助発問	戦艦大和について、知っている人？	
	場面①	発問	戦艦大和について知ろう。	↓ ここから教室
		補助発問	「男たちの大和」CHAPTER 01,04,15,16,18,19,21,22から選択。適宜説明。	
	場面②	発問	戦艦大和の乗組員は、どんな気持ちで桜を見ていただろう。	
		補助発問	特攻命令を受けながら…	
	場面③	発問	舞子はどんな気持ちで「ぼがあざん」と叫び続けたのだろう。	
		補助発問		

◆ 主題発問	市川老人の思い出語りは、あなたにどんなことを伝えてくれたらう。
---------------	---------------------------------

◆ 学び合い活動	場面発問①	場面発問②	場面発問③	主題発問
	個 ⇨ (ペア ・ グループ ・ フリー) ⇨ 個			

留意点等	<p>戦後74年になり、戦争について見聞きする機会がずいぶん減りました。しかし一方で、時間を経たからこそ言える当時の気持ちや、ぼつぼつと戦争体験者の言葉の中で聞かれるようになったと思います。広島には行けませんが、学年劇や、展示制作を通して、戦時中に一生懸命生きた人たちがいて、今があることを考えてほしいのです。</p> <p>「男たちの大和」を観るまでは、学年で動きます。(多目的室に昼休みスクリーン準備。やや早めにスタート。)</p> <p>後半は教室に戻って、場面②からの発問について考えます。中心発問で学び合いをしたあとは、「今度は劇や展示物を通して、みんなが市川老人の話から受け止めたものを伝えていくんだよ」ということで、まとめてください。</p>
-------------	--

授業後の振り返り

平方先生に、映画のチャプター編集をしてもらいました。劇の舞台になる炊烹室の場面と、激しい空襲を受けて水兵たちが甲板でどンドン命を落としていく場面をピックアップしました。映画の印象が強烈で、学び合い活動自体はあまり盛り上がりませんが、2学期末の振り返りでは、印象に残った道德のベスト1でした。感想を読むと、留意点に述べたことは、生徒に伝わっていたように感じました。